

# 四万十町

●高知県四万十町

## 日本最後の清流のまちの環境対策に、ヒートポンプシステムがバックアップ

【贈呈理由】環境に配慮したヒートポンプ・蓄熱式給湯システムの導入により、大幅な省エネルギーを実現



窪川学校給食センター

四万十町(しまんとちょう)は、2006(平成18)年3月20日、高岡郡窪川町と幡多郡大正町および十和村が合併して誕生した町である。2012年7月31日現在の総人口は19,183人。東から西に流れる四万十川の中流域にあり、東南部は土佐湾に面している。

集落の多くは四万十川とその支流の河川沿いや台地上にあり、一部が土佐湾に面する海岸部にある。林野が87.1%を占め、田畑は4.8%に過ぎない。中央部の標高230mの「高南台地」は季節の寒暖と昼夜の温度差が激しく、別名「霧の町」とも呼ばれている。しかしその厳しい気象条件と四万十川の清流は、「仁井田米(にいだまい)」をはじめ、ここでしかできない豊かな味の農作物をこの地に育む。

近年ではフィギュアメーカーの(株)海洋堂が、「海洋堂ホビー館四万十」「海洋堂

カップ館」を次々にオープンさせ、静かだった町が観光客で賑わうようになった。

### 「四万十町環境基本計画」を策定

四万十町は12～21年度までの10年間の環境施策の方向を定めた「四万十町環境基本計画」を策定した。四万十町の山、川、海が織りなす豊かで多彩な環境や景観を「郷土の誇り」として、後世に引き継いでいくことが住民の大きな使命とし、「山、川、海、自然が、人が元気で、四万十町～自然と共生する未来づくり～」を、四万十町の望ましい環境像とする内容だ。

09年4月にオール電化施設として完成した四万十町立窪川学校給食センターは、町内15校の給食(1,100食)を賄っており、その給湯設備として業務用エコキュートを導入している。



業務用エコキュート

### 公共施設へ蓄熱システム導入を推進

同様にオール電化の町立ひかり保育所にも業務用エコキュートを採用するなど、環境保全性・安全性・経済性が求められる公共施設へ、蓄熱システムの導入を積極的に進めている。

13年度末竣工予定の四万十町新庁舎は、防災拠点として機能することはもちろん、照明のLED化、太陽光発電やEV急速充電器など、環境に配慮した新庁舎の建設が予定されている。

### 主な蓄熱システム導入実績

**四万十町立ひかり保育所 2012年**  
業務用エコキュート 15kW×1台(日立アプライアンス) 貯湯槽:0.56m<sup>3</sup>

**四万十町立興津保育所 2009年**  
業務用エコキュート 40kW×1台(三菱電機) 貯湯槽:5.2m<sup>3</sup>

**四万十町立窪川学校給食センター 2009年**  
業務用エコキュート 40kW×3台(三菱電機) 貯湯槽:20m<sup>3</sup>

### 一次エネルギー消費量削減効果

(窪川学校給食センター)

今回採用 業務用エコキュート

従来方式 ガス給湯器

26%  
削減効果

(諸元) 同一負荷条件による年間シミュレーション比較  
一次エネルギー原単位  
電気(昼間):9.97MJ/kWh(※)  
電気(夜間):9.28MJ/kWh(※)  
LPG:50.8MJ/kg(※)

(※)「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」(10年改正)

